

令和8年度 学力向上を図るための全体計画

連雀学園三鷹市立第六小学校

関係法規・市教委教育目標
○学習指導要領 基礎基本の確実な定着 生きる力の育成 ○三鷹市教育委員会教育目標 確かな学力と学び続ける意欲

学校教育目標
○思いやりのある子ども ○考える子ども ◎健康な子ども

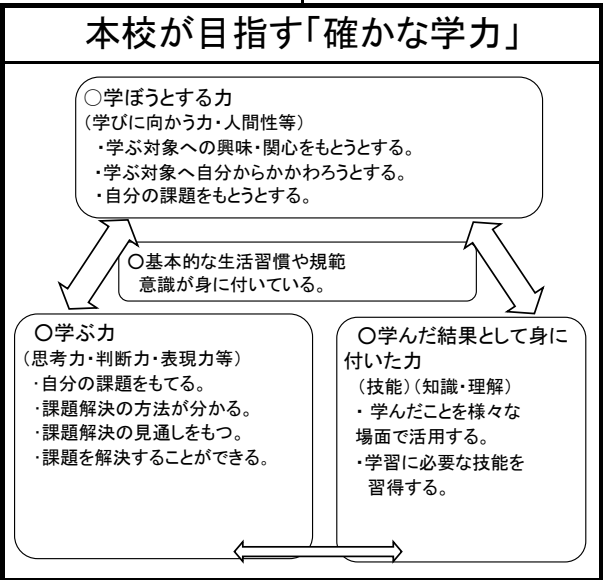
児童の実態、期待される児童像
○素直な学習態度で興味・関心も高いが個人差が大きい。 ○自分の課題に向かってすすんで取り組み、考える子。

学力向上に関わる学校経営方針

- 学力向上を保障する学校 『「分らない子」をつくらない』
- ・ユニバーサルデザインの授業(どの子にも分かりやすい優しい、易しい授業)を目指す。
 - ・自ら学び続けるために学習課題を見いだすことを大切に授業を心がける。
 - ・連雀学園小・中一貫カリキュラムによる個に応じた指導を進める。
 - ・「連雀わが家の『まなび』のスタンダード」のさらなる定着を推進する。
 - ・学校図書館の活性化を図る。
 - ・キャリア・アントレプレナーシップ教育の充実と周知に努める。
 - ・「健康教育」の取組みを続け、現在も未来も「ウエルビーイング」な子どもを育成する。

教科指導の重点
○基本的な学びの態度を身に付けさせる。 ○望ましい学習習慣の定着を図る。 ○教科等の様々な場面で言語活動の充実を図る。 ○体力の向上を図る。

総合的な学習の時間で身に付ける「学力」の重点
○人や文化、自然とのかかわりを通して事象への関心を高める。 ○課題を発見する力、自らの考えを深める力、よりよく問題を解決しようとする力を培う。 ○地域人材と協働して学習に取り組む姿勢やコミュニケーション能力を培う。



道徳教育の指導の重点
○人権尊重の精神を基調に、人と人とのかわり合いを大切にする心を育てる。 ○善悪の判断や規範意識を高めて、自ら実践できる力を育む。

特別活動の指導の重点
○体験的な活動を重視し自主的、実践的な態度を育てる。 ○たてわり班での体育的活動など異学年の交流を通して思いやりの心を育む。 ○リモートでの集会、朝会を行い、全校のつながりを大切にする心を育てる。 ○行事を通して、協力・奉仕の精神を養う。

進路指導の重点
○仕事調べや職業に通じる体験などを通して、自らの良さを知り、積極性やコミュニケーション能力など自立に必要な力を身に付けさせる。 ○中学校との連携を通して進学への希望を育む。

生活指導の重点
○6年生が考えた全校の合言葉「HAPPY」をもとに、好ましい人間関係を築く。 ○基本的な生活習慣を身に付けさせ、けじめのある学校生活が送れるようにする。 ○安全や健康に関する態度や習慣を身に付けさせる。

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研修・研究の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
○少人数指導の充実・習熟度に応じた指導、ICT機器やタブレットを活用した分かりやすい授業を通じた個別最適化 ○考える力を育てるノート指導の充実 ○一・中学区の交流学習による多様な学習の機会の設定 ○子どもの学習課題(思いや願い)を見いだすことができるような学習との出会い ○子どもの学習課題から学習をつくっていく授業づくりを行うために、自己決定や自己選択の機会がある授業展開	○一部教科担任制 専門性を生かした指導 ○心身ともに健康づくり(自尊感情の向上) ○キャリア・アントレプレナーシップ教育の推進 ○「まなびのスタンダード」の活用 ○学校図書館の活性化 ○運動会・音楽会を通じた、表現力の伸長とお互いの作品のよさに気付く力の育成	○学園と校内研究の一体化を図り、自ら学ぶ力の育成 ○学園の目標「学び続ける人」を重点とした、子どもの育成 ○健康教育を通して、自己管理能力、食育など、健康(保健)教育に特化した取り組みの継続 ○主体的に学ぶとはどういうことなのかを、発達段階(低・中・高)ごとに整理し、その姿を目指した授業づくりを行う。 ○健康教育を核に、教育活動全体を通してウエルビーイングを目指す。	○年間指導・評価計画の作成と見直し改善 ○児童・保護者・地域によるアンケートの実施、学校関係者評価の実施 ○全国体力調査(5年)の結果による課題把握と継続的な指導 ○学力調査(2・3年)、市学力調査(三鷹市4・5・6年)、全国学力調査(6年)の結果を指導へ活用する。	○あいさつ運動(年3回)、道徳授業地区公開講座開催 ○学年×10分の家庭学習の奨励(六小指導ベース)、タブレットを活用した自学の奨励、SNS家庭ルールづくりと実践 ○家庭や地域と連携した学びを総合的な学習の時間を中心に行う。 ○健康フォーラムを中心に、学校の考え方を地域に広げていく。 ○宿題を個に応じたものへと徐々に変更していく。